



【事業の分類】

関連するSDGsの目標

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
1	未来社会で輝く子どもを育むまちづくり				133
政策		その他の特色			コストの方向性
3	切れ目のない学習機会の充実				コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
3	文化・芸術の振興	ソフト	継続		

【事業の内容】

事業名	文化財情報閲覧システム構築事業				担当部課	地域振興部	文化課	
事業目的	文化財関連の資料は主に紙媒体となっており、また資料館や博物館の施設・サービス提供も訪問しなければ利用ができないため、これらの課題の解決策のひとつとしてDXを推進する。				事業主体	糸島市		
事業内容	以下の3事業により実施する ・糸島市立博物館等展示資料のVR等によるアーカイブ化 ・糸島市遺跡案内コンテンツ作成及び公開 ・糸島市文化財包蔵地図デジタル化 これらの事業の実施によって、文化財の保護も円滑になり、デジタル化、体験型にすることで市民や事業者のコンテンツの利用促進、資料館や博物館の来館者の増加、学校教育や生涯学習環境の向上といった成果を見込む。				進捗状況・現状			
事業期間	令和4年度				会計種類	一般会計		
総事業費	21,427	千円	(うち市予算化分) 21,427	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	21,427	千円	21,427	千円		10	4	3

【担当課による評価】

◆活動指標

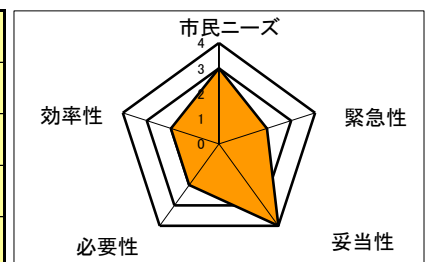
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
文化財情報閲覧システムの構築	0%	100%	100%

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
市主催の文化事業の参加者数	2,030人	2,000人	2,300人
国・県・市指定文化財の総件数	83件	86件	90件
博物館等に来館した子どもたちにおける糸島の歴史に対する認知度(アンケート)	—	60.0%	75%

◆事業の必要性など

事業の必要性	③ある程度の必要性を感じている。実施が望ましい
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用に見合う効果は期待できる。
緊急性	③数年のうちに行わなければ、問題が起こる可能性がある。
市民ニーズ	②やや高い



【事業費】

文化財情報閲覧システム構築事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計		
財源内訳	国庫支出金	21,427			21,427		
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源 (a)		2,060	2,060	4,120		
事業費 (A)		21,427	2,060	2,060	4,120 21,427		
主な事業費内訳		委託料					
従事職員数(人)					平均人件費	8,700	
人件費 (B)					人件費割合 (%)		
総コスト (A+B)		21,427			総コスト計	21,427	
実質地方負担	交付税措置額				-		
	一般財源充当額 (b)						
	(a+b)						
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)		
国庫支出金	デジタル田園都市国家構想推進交付金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	デジタル田園都市国家構想推進交付金交付要綱 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金交付要綱			50% 残り全額		
県支出金							
地方債		(充当率 %)					
その他							

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	博物館等展示資料のVR等によるアーカイブ化業務委託:5,354千円 遺跡案内コンテンツ作成及び公開業務委託:7,029千円 文化財包蔵地図デジタル化業務委託:9,044千円	21,427 千円
令和5年度	【ランニングコスト】 サーバーの保守点検 2,060千円 文化財包蔵地図:1,664千円 遺跡案内コンテンツ:396千円	千円
令和6年度	【ランニングコスト】 サーバーの保守点検 2,060千円 文化財包蔵地図:1,664千円 遺跡案内コンテンツ:396千円	千円

担当部長による 総合評価	これらの事業の実施によって、文化財の保護も円滑になり、デジタル化、体験型にすることで市民や事業者のコンテンツの利用促進、資料館や博物館の来館者の増加、学校教育や生涯学習環境の向上といった成果を見込むことが可能である。
-----------------	--